

令和 7 年 8 月吉日

会員各位

一般社団法人鳥取県理学療法士会

会 長 山崎 祐輔

西部研修部長 荒木 大輔

(公 印 省 略)

第 1 回 若手セラピスト向け基礎研修会 開催のご案内

謹啓 皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今年度からの新たな取り組みとして 1～5 年目の若手セラピストを主とした基礎研修会を開催する運びとなりました。

昨今、最近のトピックスに重きを置いた研修会が主であり、若手を対象とした基礎的な研修会が少ないため、様々な基礎知識や技術を学びたいという意見が若手セラピストから多く聞かれました。

そこで今回、県内でご活躍の認定理学療法士、専門理学療法士の方にご講演いただき、多岐にわたる分野に関する基礎研修会を開催したいと思います。今回は脳卒中分野に関する研修会のご案内です。

臨床に関する悩み相談も出来るような気軽に参加できる会にしたいと思いますので、ぜひ参加の程、よろしくお願いします。

謹白

記

- 研修名 : 脳卒中患者に対する臨床推論～観て・触れて・考えることの重要性について～
講師 : 小谷伊織 先生 (よなご脳神経クリニックリハビリセンター 脳卒中認定理学療法士)
アシスタント : 荒木大輔 (大山リハビリテーション病院 脳卒中認定理学療法士)
会場 : よなご脳神経クリニックリハビリセンター (米子市東福原 6-5-58)
日時 : 2025 年 10 月 26 日 (日) 9:00 ～ 12:30 (受付開始 8:30～)
対象者 : 経験年数 1～5 年目の理学療法士 (6～10 年目の方も参加可)
内容 : 講義 (姿勢制御を背景にした運動学的/神経学的側面を学び、脳卒中患者に対する特徴の理解と評価・治療を行うための知識共有を行います)
実技 (姿勢・動作観察から得た情報 (hands off) とハンドリングから得た情報 (hands on) を分析・統合した中での評価/治療場面を提示し、受講者同士でも実技練習を行います)
目的 : 観る (観察)、触る (ハンドリング)、考える (分析・推論) ことを通じて参加者の学びに繋げる
その他 : 実技練習が可能な服装でお越しください (T シャツ・短パンが望ましい)
参加費 : 鳥取県理学療法士会会員⇒500 円 他県理学療法士会会員⇒600 円
申し込み方法 : 協会アプリまたは日本理学療法士協会 HP のマイページよりお申し込み下さい。
セミナー番号 : 147373 ※締切 : 10 月 19 日 定員 : 30 名 (先着順)
研修ポイント : 後期研修における領域別研修の C-1 土会オリジナル神経系理学療法 2 コマが付与されます。

以上